


I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

| | | 学校名 | 県立浪岡養護 | 学校 |
|--------------|--|---|---|---------|
| 授業について | 教科領域名 (✓又は■で記入する。) | <input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 ■自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ） | | |
| | 単元(題材)名 | 自分の体調や気持ちを話そう | | |
| | 単元(題材)の目標 | 自分の体調や最近あった出来事に対する気持ちを話すことができる。 | | |
| 学習集団と実態 | 学部・学年・人数 | 高等 | 部 | 3 年 1 人 |
| | 本単元(題材)における学習集団の主な実態 | 対象生徒は、集団活動へ抵抗があり、不登校が続いている。一方で、指導者とのラポートはとれており、自宅と学校をオンラインで繋ぐことで、話することができる。また、生徒は、ICT 機器に慣れており、ライブ配信アプリを使って、オンラインの友だちと話をしたり、配信を行ったりする趣味をもっている。 | | |
| I C T 活用について | 使用した支援機器・教材の名称 | PC、Web カメラ、スマートフォン（生徒私物） | | |
| | 使用したアプリケーションの名称 | Google meet |  | |
| | 主な活用の用途 (✓又は■で記入する。) | (複数選択可能) ■コミュニケーション支援 (<input type="checkbox"/> 意思伝達支援 ■遠隔コミュニケーション支援) <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input type="checkbox"/> 学習支援 (<input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援 | | |
| | I C T 活用のねらい | <ul style="list-style-type: none"> ・登校できない生徒に対して、学校との繋がりを切らないようにする。 ・集団活動に抵抗があり、登校できない実態に対して、安心して活動に参加し、自分の気持ちを話すことができるようになる。 | | |
| 活用の状況と支援 | <p>1 週間に 1 回、生徒の体調が良いときに、オンライン授業を実施することができた。授業は、30～50 分程度で、体調の確認、生徒の好きなゲームや動画の話、最近の出来事などを話した。</p> <p>体調の確認では、昼夜逆転していることや、腹痛の状態など、自分の体調を伝えることができた。また、最近の出来事の話では、オンラインの友だちとのトラブルについて、そのときの自分の気持ちを話すことができた。</p> | | | |